

みんないっしょに生きる社会を

まっぼっくり

らい予防法による被害者の
名誉回復及び追悼の日

昨年の6月28日、熊本地方裁判所における国の謝罪と賠償を求めたハンセン病家族国家賠償請求訴訟で、患者の家族も隔離政策の被害者であるとの判決が出されました。これに対し国は判決を受け入れ、内閣総理大臣は7月12日に次の談話を発表しました。「ハンセン病対策の歴史と筆舌に尽くしがたい経緯をされた患者・元患者の家族の皆様への御労苦に思いを致し、極めて異例の判断ではありますが、敢えて控訴を行わない旨の決定をいたしました。さらに、ハンセン病対策については、かつて採られた施設入所政策の下で、患者・元患者の皆様のみならず、家族の方々に對しても社会において極めて厳しい偏見、差別が存在したことは厳然たる事実であります。この事実を深刻に受け止め、患者・元患者とその家族の方々が強いられてきた苦痛と苦難に対し、政府として改めて深く反省し、心からお詫び申し上げます。（一部抜粋）」その後、11月15日に議員立法により「ハンセン病元患者家族に対する補償金の支給等に関する法律」が成立し、同月22日に施行

されました。

さて、改めてこれまでの経緯を見ていきます。ハンセン病は、らい菌によって引き起こされる慢性的細菌感染症ですが、らい菌の病原性は非常に低く、感染することは極めてまれで、感染しても発病する人はさらに少なくになります。症状は主に末梢神経と皮膚に現れ、進行すると運動麻痺による顔面や手足の変形が起こります。しかし、現在では優れた治療法が確立され、発病しても早期に適切に治療すれば後遺症を残さず治るようになります。ハンセン病は強制的な隔離を必要とする病気ではなかったのです。明治40年にハンセン病患者の強制隔離を目的に「癩予防二閑スル件」という法律が制定され「らい予防法」が廃止されるまでの89年間、国は強制隔離政策を継続しました。平成13年6月22日、金銭補償と名誉回復や福祉対策の向上を国の責任で行うことなどを盛り込んだ「ハンセン病療養所入所者等に対する補償金の支給等に関する法律」が施行されました。また、この6月22日は平成21年から「らい予防法による被害者

の名誉回復及び追悼の日」と定められました。さらに、この年の4月には、国の誤った強制隔離政策によるハンセン病回復者等の被害の回復を目的とした「ハンセン病問題の解決の促進に関する法律」が施行され、今日へと至っています。

最後に、平成23年に厚生労働省前庭に建立された「らい予防法による被害者の名誉回復及び追悼の碑」に刻まれた文言を紹介いたします。

「ハンセン病の患者であった方々などが強いられてきた苦痛と苦難に対し、深く反省し、率直にお詫びするとともに、多くの苦しみと無念の中で亡くなられた方々に哀悼の念を捧げ、ハンセン病問題の解決に向けて全力を尽くすことを表明する。

平成23年6月 厚生労働省

病名の表記については、医学用語、法律用語、歴史的用語として使用されている「らい」「癩」はそのまま使用し、その他は「ハンセン病」としました。

人権推進課
☎(275) 6279

あなたのデザインがTシャツに!

高石Tシャツデザインコンテスト2020

応募期間 令和2年6月30日(必着)まで

募集内容 テーマ「高石市の魅力を表現したデザイン」に沿ったTシャツのプリント・デザイン(プリントサイズは縦42cm×横29.7cm、Tシャツの色は無地の白)

表彰 最優秀賞:高石市共通商品券1万円分と作品をプリントしたTシャツ

応募 【①Instagram】▶Step1:「@reboot_takaishicity_official」をフォロー▶Step2:応募作品に「#高石Tシャツデザインコンテスト2020」と記載し、Instagramに投稿(当選者にはDM(ダイレクトメッセージ)にてお知らせします)

【②メール】ti-sei@city.takaishi.lg.jpまでメール送信

高石の魅力を表現するTシャツデザインコンテストを開催!

作品の応募はデータ、手書きでもどちらでも構いません。最優秀賞に選ばれたデザインは今後窓口で販売する予定です。

その他注意事項等はFacebook高石市公式アカウント「REBOOT」でご確認ください。

問合先 総合政策課 ☎(275)6138

